



吹田 薫 議員

避難場所での
感染症対策について

問

避難場所での
感染症対策について。

答

一人一人の距離を確保し
収容人数を定めています。

問 垂直避難や親戚等への非難
ができない場合や、独居高齢
者や障がい者等の非難マニユ
アルはできているのか。

答 政策部長

本市の地域防災計画では、
災害発生の危険性が高まって
きた段階で、市が広域避難所
を開設することとしています
が、差し迫った状況になる前
から自主避難として自らの安
全を確保するために自宅の2
階への非難をはじめ、親戚や知
人宅、地区避難所など広域避
難所以外でも安全を確保でき
る場がある場合には、そちら
に避難いただくことも有効な

問

3密を避けるための避難所
における対応は

答 政策部長

感染リスクを避けるため、
避難所において別の家族との

距離を2m確保することが必
要と言われており、本市では、
一人一人の距離を1.8m確保
することを基本に広域避難所
の収容人数を定めているため
避難所の過密化は一定回避で
きるものと考えています。一
方で感染リスクを抑えるため
には発熱等の体調不良者など
は別のゾーンに分けるといつ
た、より徹底した対応が必要
となるため、例えば、学校の
体育館を広域避難所に指定し
ている場合は、校舎の一部に
ついても避難スペースとして
活用するなどの方法について、
関係部局と調整しているとこ

ろです。

問

避難所での体温チェックな
ど行う人員や備品の状況は

答 政策部長

体温チェックなどは広域避
難所を開設する地区本部の職
員が当たるほか、保健師が健
康管理のために避難所を巡回
します。

※垂直避難とは……2階などの建物の
中より安全な場所への避難



ワンタッチパーティー